

第1回 プラセンタ研究交流会セミナー

# 愛玩犬に対するプラセンタ療法の 症例報告

---

平成22年5月27日

プラセンタ研究交流会 理事 新妻 桂子  
(動物病院ジェム 獣医)

# 1. アメリカンコッカー メス 10歳

病歴：11/9 軟便が二カ月続く

→ 補液sc、グルタチオンiv、レバチオ液poで週一回一か月治療後、軽快

主訴：2/8 軟便と痩身

症状：脱水(7%)、元気(+)、食欲(+)、過剰心音

治療：補液sc、グルタチオンiv、プラセンタsc、レバチオ液po、ルンブレンpo、  
タウリンpo、VB12po

経過：2/27 便の状態は改善していたため、服用薬をプラセンタ、タウリンのみとした。

3/22まで治療(グルタチオンiv、プラセンタsc)を三回行った。

5/1 血液検査にて異常は認められず、現在まで状態は良好。

## 2. Mダックス メス 6歳

主 訴 : 下痢

症 状 : 食欲(一)、軟便(ゼリー状)、脱水(7%)、心音正常、背部疼痛(一)

治 療 : 補液sc、グルタチオンiv、プラセンタsc、レバチオ液po

経 過 : 二日後、軟便改善。腰を痛がっている様子。

補液、VB群をiv、po。

その後服薬のみで軽快、三ヶ月後現在良好

### 3. Mシュナウザー メス 2歳

主 訴 : 尿結晶

症 状 : 血尿(一)、しぶり(一)、起床後の嘔吐、腰椎部に冷感

治 療 : グルタチオンiv、プラセンタsc、レバチオ液po、VB12po

経 過 : 三か月の治療を経て、尿phは8から7へ推移、嘔気は解消し、毛ツヤなど一般症状は改善した。

結晶は析出する。

## 4. ビンヨンフリーゼ メス 4歳

主 訴 : 膀胱結石摘出後の血尿と残尿感

症 状 : 心拍出音亢進、被毛粗剛

治 療 : ウルソpo、レバチオ液po、プラセンタsc

経 過 : 2週間後の診察で、心音は改善したが、残尿感はまだある。

一カ月後、残尿感はほぼ解消した。

半年たった現在、投薬なく、状態良好。